

〈翻訳〉

(解説) CHEA「ア krediyteeshon 機関の 認証に関する方針・手続」(2018. 9. 24CHEA 理事会承認)

早 田 幸 政

1. 米国におけるア krediyteeshon と 認証システム

アメリカでは、自立的な高等教育団体が自らの基準に基づき、個別高等教育機関や教育プログラムを評価し合否判定を行うことを通して、その質の維持・向上を図ることを内容とする「ア krediyteeshon」の仕組みが発達している。ア krediyteeshon は、非政府組織によるピア・レビューとして行われている点に大きな特徴があり、高等教育機関を一単位として行う「教育機関別ア krediyteeshon」と専門職業人養成のための教育プログラム単位で行う「教育プログラム別ア krediyteeshon」の二種に区分される。

一方、ア krediyteeshon 機関も、その本来目的に則した活動を継続して行っていくため、定期的かつ組織的な外部評価を受け適格認定を得ることになっている。この外部評価・適格認定が「認証 (recognition)」と呼ばれる。認証活動は、連邦教育省 (U.S. Department of Education, USDE) と非政府組織の「高等教育ア krediyteeshon 協議会 (Council for Higher Education Accreditation, CHEA)」の二つの組織によって担われている。

ア krediyteeshon 機関は、それぞれ異なる

理由に拠って、UEDEもしくはCHEA (もしくはその双方) の認証を得ている。2008年制定の「高等教育機会法 (Higher Education Opportunity Act, HEOA)」Title IV に基礎づけられた連邦政府・学生奨学金の受給資格に直結するア krediyteeshon を掌る機関にとって、USDEからの認証が不可欠である。またUSDEと同様のレベルにおいて、アメリカ高等教育界におけるア krediyteeshon 機関としての「市民権」を公的に獲得しその地位をゆるぎないものとする上で、CHEAの認証が有効に機能するものとされている。また、高等教育機関の間での単位や学位の相互認定は「高等教育単位互換等推進機構 (Higher Education Transfer Alliance, HETA)」という自立的なネットワークの枠組を介して行われるが、その対象となる高等教育機関や教育プログラムは、USDEやCHEAの認証を受けたア krediyteeshon 機関によってア krediyteeshon されていることが不可欠的に要請されている。

2. CHEAの活動目的と認証基準

CHEAは、1996年に設立された非政府組織で、高等教育の在り方に対する連邦教育省や連邦議会の要請・要望に対応するとともに、ア krediyteeshon

ションの充実・強化を図るべく、その役割を担っているアクレディテーション機関を「認証」することを通じ、高等教育の向上を図ることを任務としている。CHEAは、米国高等教育機関の連合組織で、その運営を担う理事会メンバーも、一部公益代表を除き全員が大学関係者となっている。

CHEAが認証対象としているのは、米国に所在するアクレディテーション機関で、アクレディットの対象とする高等教育機関、教育プログラムの過半数が「準学士」以上の学位を授与しているものについてである。

そして、「認証」という制度的手段を介し、アクレディテーション機関の営む質保証活動の有効性を維持・継続させるという役割を果たすべ

く、認証の可否の決定の際に適用される自主規範が、CHEAの定立した「認証基準 (recognition standard)」なのである。この「認証基準」は、CHEA「アクレディテーション機関の認証に関する方針・手続 (Recognition Accrediting Organizations Policy and Procedures)」(2018.9.24 CHEA理事会承認)に全文掲記されている。本稿は、上記「方針・手続」中、冒頭の「用語説明 (KEY TERMS)」を除く「本文」全体の翻訳を試みたものである。

同訳は、CHEA “Recognition Accrediting Organizations Policy and Procedures” (https://www.chea.org/sites/default/files/other-content/Recognition-Polic-FINAL-Dec-2018_2.pdf (2021.6.7閲覧)) に拠ってこれを行った。